

# 地域医療提供体制の構築について

## 概要

人口減少や高齢化が進行し、医療ニーズの変化や医療の高度化、人口構造の変化に伴う生産年齢人口の減少が進む中、バランスの取れた医療を効率的に提供する体制を構築するため、地域医療構想、医師確保・医師偏在対策、医師・医療従事者の働き方改革を一体的に推進していくことが必要。

## 現状

### ■ 医療資源の分散・偏在

- ・ 都市部への偏在により、医療資源が乏しく人口減少や高齢化が進行する地域では、医療機能の分化・連携が必要
- ・ 医師の少ない地域での医療提供体制の不足・医師の過剰な負担

### ■ 医師の過重労働

- ・ 疲弊した医療現場は医療安全への不安直結

## 1 医療施設の最適配置の実現

(地域医療構想：2025年まで)

- ① 公立・公的・民間医療機関における具体的対応方針の合意形成
- ② 具体的対応方針の検証と地域医療構想の実現に向けた更なる取組

## 一体的に推進

## 2 医師・医療従事者の働き方改革

(医師の時間外労働に対する上限規制：2024年度～)

医療機関における労働時間管理の適正化とマネジメント改革（意識改革、タスク・シフト、ICT等の活用による業務の効率化）

## 3 実効性のある医師偏在対策

(医師偏在の目標年：2036年)

- ① 医師確保計画に基づく医師確保対策による医師の地域偏在の是正
- ② 総合診療専門医の確保等によるプライマリ・ケアへの対応